



2018年9月7日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 セ ブ ン 銀 行
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 舟 竹 泰 昭
(コード番号：8410 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 企 画 部 長 竹 内 洋
(TEL：03-3211-3041)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2018年11月2日に2019年3月期第2四半期決算を発表する予定としておりますが、海外事業における収益計画を見直す過程におきまして、特別損失を2019年3月期第2四半期決算において、新たに計上する見込みとなりました。

これに伴い、本日開催の取締役会において、2018年5月11日に公表した2019年3月期の業績予想を以下のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結決算における特別損失（のれん等の減損損失）の計上 について

今般、当社の海外事業を推進している米国連結子会社 FCTI, Inc.（以下、FCTI）ならびにインドネシア連結子会社 PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL（以下、ATMi）に係る収支が、当初策定した計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行い、FCTI・ATMi 両社に係る固定資産（主にFCTIの株式取得時に発生したのれん等）について減損損失14,596百万円を特別損失として計上する見込みであります。

2. 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上 について

上記海外事業における収益計画の見直しに伴い、当社が保有する上記、海外子会社2社の株式について実質価額の低下を認識し、関係会社株式評価損21,877百万円（110円/米ドル、0.900円/100インドネシアルピアを前提に算出）を特別損失として計上する見込みであります。なお、個別決算に計上される関係会社株式評価損は、連結決算においては相殺消去されるため、連結決算への影響はありません。

3. 業績予想の修正理由

上記特別損失が発生することに加え、海外事業における収益性改善の遅れ等のため、2019年3月期の業績予想を修正いたしました。

4. 2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正（2018年4月1日～2018年9月30日）

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	72,600	20,600	13,800	11.58
今回修正予想（B）	73,000	20,300	△500	△0.41
増減額（B-A）	400	△300	△14,300	
増減率（%）	0.5	△1.4	—	
（ご参考）前期実績	62,279	19,898	13,602	11.41

5. 2019年3月期通期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	146,700	39,800	26,800	22.49
今回修正予想（B）	147,200	39,900	12,800	10.74
増減額（B-A）	500	100	△14,000	
増減率（%）	0.3	0.2	△52.2	
（ご参考）前期実績	127,656	38,305	25,301	21.24

6. 2019年3月期第2四半期（累計）単体業績予想の修正（2018年4月1日～2018年9月30日）

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	59,900	22,400	15,500	13.01
今回修正予想（B）	59,900	22,400	100	0.08
増減額（B-A）	0	0	△15,400	
増減率（%）	0	0	△99.3	
（ご参考）前期実績	58,186	21,507	14,808	12.43

7. 2019年3月期通期単体業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	119,600	42,500	29,400	24.67
今回修正予想 (B)	119,600	42,500	14,000	11.75
増減額 (B-A)	0	0	△15,400	
増減率 (%)	0	0	△52.3	
(ご参考) 前期実績	116,650	42,262	29,106	24.43

(注) 連結損益の為替レート

: 1米ドル

2017年度実績=112.16円、2018年度当初計画=110.00円

2018年度上期修正計画=108.67円、2018年通期修正計画=110.00円

: 100インドネシアルピア

2017年度実績=0.838円、2018年度当初計画=0.900円

2018年度上期修正計画=0.790円、2018年度通期計画=0.900円

8. 配当の状況

株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要施策の一つと認識し、配当額を安定的に増加させつづけることを利益還元の基本方針としております。今回公表しました特別損失に関しては、臨時かつ非現金支出費用であること、業績及び資金の状況及び財務体質の健全性などを総合的に勘案した結果、2018年5月11日に公表した1株当たり年間10円の配当予想に変更ありません。

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	4.25	—	4.75	9.00	10,723	42.6	5.6
2018年3月期	—	4.75	—	5.25	10.00	11,915	47.0	5.8
2019年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		93.0	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社の持続的成長を目指し、2017年5月に策定した中期経営計画の海外事業の方針「米国事業を軌道にのせ、アジアは基礎固め」は変更せず、推進してまいります。

特に、米国連結子会社 FCTI は、2017年8月よりスタートした米国セブン-イレブン店舗への約8,000台のATM設置を2018年3月に完了いたしました。この基盤を活用し、早期収益化を実現すべく努めてまいります。

<ご参考：のれん等減損損失と関係会社株式評価損の会計上の取り扱いについて>

連結決算に計上される予定の減損損失は、主に連結財務諸表上に計上されておりましたのれん及び無形固定資産に関して、帳簿価格の切り下げに伴う損失であります。一方、個別決算に計上される予定の関係会社株式評価損は、個別財務諸表上に計上されておりました関係会社株式の評価替えに伴う損失であります。当該関係会社株式評価損は、連結決算においては相殺消去されるため、連結損益への影響はありません。連結決算における減損損失及び個別決算における関係会社株式評価損は、それぞれ異なる損失であるため、金額は一致しません。

なお、連結財務諸表に計上される予定の減損損失及び個別財務諸表に計上される予定の関係会社株式評価損は、いずれも現金及び現金同等物の減少を伴うものではありません。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上